

○室井邦彦君 次に移ります。

少し懸け離れた質問かも知れませんが、一極集中から打開するためのこれは一つの考
え方でありますので、述べさせていただきたいと思えます。

一九六四年の東京オリンピックに間に合わせるために開業にこぎ着けた東海道新幹線、
東京圏、中部圏、そして大阪圏を短時間で結ぶネットワークとして整備され、この太平洋
ベルト地帯が日本の経済の牽引車となって我が国を高度成長に導きました。目覚ましい経
済発展を遂げることになりました。

そこで、リニアの開業によって、東京—大阪間の所要時間は格段に短縮され、アクセス
面においてははるかに利便性が向上すると期待されております。東京—大阪間、六十七分
で結ばれるようであります。リニア中央新幹線の開業は防災・減災の観点より過度な東京
一極集中の是正にもつながる、私はそのように思っております。また、東京以外でインフ
ラが整っているのは大阪であり、リスクを分散する点でも二大都市である東京と大阪が常
に継ぎ目なく結び付いている必要がある、このように思います。

そこで、国土交通大臣に質問させていただきますが、リニア中央幹線の整備を国家戦略
として位置付け、国が率先して取り組むための支援体制を是非創設していただければどう
かということ、そして、リニア中央新幹線の大阪までの開業を二〇二七年の名古屋と同時
期に合わせることは、西日本一帯に大きな経済効果をもたらす、日本全体にとっても重要
な意味がある、このように考えます。国土交通大臣の御所見をお聞かせをお願いします。

○国土交通大臣（太田昭宏君） 御指摘のように、リニア中央新幹線は、最速で東京—名古屋
間を四十分、東京—大阪間を一時間強で結ぶことによりまして、三大都市圏の間の人の流
れを劇的に変える。そして、国民生活や経済活動にも大きなインパクトを及ぼす。そして
また、今先生おっしゃいましたように、首都直下地震を始めとして、東西の分断をされる
というような大規模地震ということに対しても極めて重要な事業であるという認識をして
います。

この事業につきましては、JR東海が民間企業としての経営の自由や投資の自主性の確
保が大原則であるという前提の下に全額自己負担で整備する意向を示したことを受けまし
て、平成二十三年でありますけれども、建設の指示を行ったところでございます。

JR東海は、このような前提に基づいて、同社の財務や現場の工事の見通しを踏まえ
て、東京—名古屋間の開業目標を今御指摘のありましたように二〇二七年ということをも
定めて、大阪まではその後というように設定をしているところでございます。早急に開業す
べきという要望非常に強く、また、これは単なる関西ということを行っているのではない
んだと、国全体のことなんだという御指摘もいただいているところであり、私も十分承知
しているところであります。こうした経過というものもございまして、建設主体である
JR東海の考え方もよく踏まえていく必要があるというふうに思っております。

このリニア新幹線に関しましては、来年度税制改正において税制上の優遇措置を講ずる
というようなことをやっているわけですが、それらも含めて、どういう支援ができるか
ということをも更にもうこれから詰めていくという作業をさせていただきたいというふう
に思っています。

○室井邦彦君 大臣、是非その詰めた作業を進めていただき、もちろん関西圏、また九
州、また四国、中国、こういう地域の方々もそのことを希望、期待をしておりますので、
是非また強力な御指導を賜りまして進めていただきたい、このことをお願いを更に申し上
げておきたいと思えます。

復興関連に、あと二分でございますが、質問をさせていただきます。

この質問は、福島県出身の増子議員も鋭く御質問をしておられたようでありますし、多
少重複するかも知れませんが、私の父親も福島県出身でございますので、しっかりとこ
の点はお尋ねしておかないけないという思いで、重複をお許しいただいて、最後の質問を
させていただきます。

この東日本大震災からももちろん明日で三年を迎えるわけでありまして、被災者に対する
アンケート、よく先生方から何度も耳にしました。このアンケートで約八〇%以上が復興
は進んでいない、このように感じているという数字が出ております。また、津波に襲われ
た三県の沿岸自治体と原発事故で避難区域が設けられた福島県の自治体の首長、これも重
複しますが、三月三日のこれは朝日新聞のアンケート調査であります。復興が進んでい

186-参-予算委員会-10号 平成26年03月10日

るかという質問に対し、四十二市町村の中、進んでいると答えている市町村長は三人だけということでもあります。

私は、政府がこれまで被災地の声に耳を傾け、復興対策に取り組んでこられたことは、私は高く評価をさせていただいております。担当大臣、この結果を率直にどのように感じられるか、御所見をお聞かせください。